

教科「おおたの未来づくり」の全体計画

【児童の実態】

学習意欲が高く、スライド作りなど基本的な ICT 技術は身に付いている。試行錯誤しながら、地域の社会や人々の「Well-being」につながるものや取組を創り出すかや、問題解決に向けて友達同士で話し合う力を伸ばしていきたい。また、地域社会の一員の自覚をもたせたい。

学校教育目標

- よく考えるこども
- ◎思いやりのあるこども
- ◎がんばるこども
- じょうぶなこども

【地域の特色と地域の教育資源】

- ・池雪いきいき応援隊
 - ・東京科学大学留学生
 - ・東急ストア
 - ・商店街、上池上商店会など
 - ・大田区環境公社
- など

- 地域の社会や人々の「Well-being」につながる取組に参画するための基礎となる知識及び技能
- 試行錯誤して、地域の社会や人々の「Well-being」につながるものや取組を創り出し、発信するための基礎となる思考力、判断力、表現力等
- 地域社会の一員として、大田区に愛着をもち、様々な人などとの関わりを大切にするとともに、自他のよさやもち味を生かしながら主体的に取り組む、よりよい未来を創造しようとする態度

<第5学年の具体的な内容>

「もったいないプロジェクト」【A ものづくり A】 35 時間

目標 お米作りや稲・米を使った商品開発、食品づくりに携わっている人々の願いを知り、解決のためのアイデアを企画したり提案したりする活動を通して、地域の一員としてよりよいものをつくり出すために試行錯誤しながら、根拠や自分の思いをのせて伝えたり実践したりすることができる。

授業パートナー 東急ストア、大田区環境公社

協力依頼する事項 食品ロスへの取り組み方・お店の願い、食品ロス問題の講話

<第6学年の具体的な内容>

「未来につなげ!商店街プロジェクト」【B 地域の創生】35 時間

目標 商店街が直面する諸問題や人々の願いを知り、解決のためのアイデアを実践したり広報したりする活動を通して、地域の一員としてよりよいものをつくり出すために試行錯誤しながら、商店街の各店舗の魅力を伝えたり願いを解決したりする方法を考えることができる。

授業パートナー 上池上商店会、上池上商店会各店舗

協力依頼する事項 商店街が直面する問題やお店の人々の願いの講話、お店に児童の作品を置く

◆関連する教科等の内容及び教科「おおたの未来づくり」に充てる授業時数

<第5学年>

- 国語……8時間
 - 社会……5時間
 - 算数……2時間
 - 理科……2時間
 - 家庭科……3時間
- ### <第6学年>
- 国語……9時間
 - 算数……3時間
 - 理科……3時間
 - 図工……3時間
 - 家庭科……2時間

どの単元からどれだけの時数を充てるかは、別紙「未来づくりのための各教科の時数調整」を参照。

※加えて、総合的な学習の時間から各 15 時間を充てて指導する。

第1学年から第4学年：各教科等の学習を通して育成する創造的な資質・能力の素地

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
問題の発見・解決に必要な情報を収集・活用するための知識・技能を身に付ける。 1～4年 国語 1～2年 生活	目標と現状、予測と結果、異なる意見等を比較し、問題を発見する力を身に付ける。 1～2年 生活 3～4年 社会・総合 既習事項や収集した情報、多様な考えを整理して問題の解決策を考える力を身に付ける。 1～4年 算数	実社会で活躍する人との対話を大切にし、問題の発見・解決に資する情報収集に進んで関わろうとする態度を身に付ける。 1～2年 生活 3～4年 総合
分かったことや考えたことを相手に分かりやすく伝えるための言語や情報技術に関する知識及び技能を習得する。 1～4年 国語 1～2年 生活	問題を発見し、解決方法を考え、結果を予測しながら試行錯誤して解決方法の実行を繰り返し、問題解決を図る力を身に付ける。 3～4年 理科 1～2年 生活	問題の発見や解決に向かって、自分や他者の良さを生かして協働しながら、主体的に取り組もうとする態度を身に付ける。 1～2年 生活 3～4年 総合

未来づくりのための各教科からの時数調整

【6年】

教科	単元名	時数
国語	漢字の広場①～⑥	6h
	公共図書館を活用しよう	1h
	デジタル機器と私たち	1h
	みんなで楽しく過ごすために	1h
算数	データを使って生活を見直そう	1h
	算数卒業旅行	2h
理科	私の研究	2h
	地球に生きる	1h
図工	いつもの学校がへんしん	3h
家庭科	共に生きる地域での生活	1h
	持続可能な社会を生きる	1h
		計 20 時間
総合	勝海舟記念館を広めよう	12h
	キャリア教育	2h
	情報モラル	1h
		計 15 時間

【5年】

教科	単元名	時数
国語	目的に応じて引用するとき	1h
	あなたはどうか考える	1h
	「子ども未来科」で何をする	6h
社会	米づくりのさかんな地域	3h
	情報を生かす産業	2h
算数	算数で読みとこう	2h
理科	植物の発芽と成長	2h
家庭科	生活を支える物やお金	3h
		計 20 時間
総合	米を調べよう!育てよう!	15h
		計 15 時間

◆今年度、上記の単元を引いて指導計画を立てる。(5,6年の年間指導計画は、すでに引かれたもので作成)また、家庭学習などで引かれた分の指導時間を補う。

◆今年度調整した結果、やりにくい単元が出た場合は、来年度に向けて修正する。

おおたの未来づくり 単元計画シート

池雪小

単元名		池雪もったいないプロジェクト(第5学年)	
内容		A_ものづくり (ア) 新商品の企画提案型	総時間数
目標	(知) 問題の発見・解決に必要な情報を収集・活用する知識及び技能を身に付けるとともに、相手に伝えるための言語や情報技術に関する知識及び技能を身に付ける。 (思) 情報を比較することで問題を発見する力を身に付けるとともに、収集した情報を整理して問題の解決策を考える力を身に付ける。 (思) 問題を発見し、解決方法を考え、結果を予測しながら試行錯誤して解決方法の実行を繰り返し、問題解決を図る力を身に付ける。 (態) ものづくりに携わる人とのかかわりを大切にするとともに、自分や他者のよさを生かしながらアイテムづくりに主体的に取り組み、より多くの人にもものづくりの魅力を伝えようとする態度を養う。		
指導計画の概要			
学習過程	主な学習活動		外部連携・教材等
コンセプト	<ul style="list-style-type: none"> ・地域社会や人々の“Well-being”に寄与する新製品づくりというゴールをつかみ、学習計画を立てる。 ・お米づくりや稲・米を使った商品開発、食品づくりに携わっている人々の思いや願いについて調べたり、インタビュー活動を行ったりする。 ・コンセプト設定に必要な情報を収集する。 ・地域社会や人々に向けて意識調査を行い、それを基にコンセプトを設定する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・教科書 ・東京田園調布緑ロータリークラブ ・池雪いきいき応援隊 ・グーグルフォームによるアンケート調査
デザイン	<ul style="list-style-type: none"> ・収集した情報を整理・分析し、コンセプトにあったものを設計するためにアイデアを出し合う。 ・コンセプトにあった機能、効果、外観、キャッチコピーを考え、表現する。 ・デザインに込められた思いをプレゼンする資料を作成する。 ・授業パートナーや地域の方々にデザインを紹介し、評価してもらう。 ・様々な人からの評価を整理・分析し、改善に向けて話し合う。 		<ul style="list-style-type: none"> ・大田区環境公社 ・東急ストア ・栄養士 ・池雪いきいき応援隊
クリエイション	<ul style="list-style-type: none"> ・デザイン、説明の練り直しを行う。 ・作業班、プレゼン・説明書班に分かれて、デザインを具現化する活動をする。 ・完成作品について授業パートナーにプレゼンし、フィードバックを受ける。 ・活動の振り返りを行う。 		<ul style="list-style-type: none"> ・大田区環境公社 ・東急ストア ・栄養士 ・池雪いきいき応援隊
本単元を行うために授業時数を削減する教科等、本単元で補完する内容及び削減する授業時数			
教科名等	本単元で補完する内容		授業時数
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・目的に応じて引用するとき ・あなたはどうか考える ・「子ども未来科」で何をする 		8
社会	<ul style="list-style-type: none"> ・米づくりのさかんな地域 ・情報を生かす産業 		5
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・算数で読みとこう 		2
理科	<ul style="list-style-type: none"> ・植物の発芽と成長 		2
家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・生活を支える物やお金 		3
総合的な学習の時間	地域の人、もの、ことの中から問いを見いだし、その解決に向けて見通しをもって調べ、集めた情報を整理、分析し、根拠を明らかにしてまとめ・表現する力を身に付けている。		15

おおたの未来づくり 単元計画シート

池雪小

単元名	伝えよう、上池上の歴史、地域の良さ 未来につなげ商店街プロジェクト(第6学年)		
内容	B 地域の創生(オ)	総時間数	35
目標	商店街の方や動画を視聴する人の意識に立って動画を企画、制作するための内容的・方法的な知識及び技能を身に付ける。 ICT技術を用いて商店街各店舗の魅力をより効果的に伝えるために試行錯誤をしながら動画を作成する活動を通じて、商店街が直面する問題や願いを解決する方法を考える。 上池上商店街の人々に関わる経験を通して、商店街が直面する問題に対して何ができるかを主体的に考え、未来を創造しようとする態度を養う。		
指導計画の概要			
学習過程	主な学習活動		外部連携・教材等
コンセプト	<ul style="list-style-type: none"> 他校の取り組みを参考にして、自分たちがどんな力を生かしたいか考える。 商店街の方々から地域の商店街の現状を聞く。 商店街連携店舗に行き、商店街のよさや店舗の魅力や願いについて知り、資料を集める。 		上池上商店会 タブレット端末
デザイン	<ul style="list-style-type: none"> 各店舗の願いをもとに自分たちにできることを考え、プロジェクト企画書を作る。 商店街の方々に向けたプロジェクトプレゼンテーションやデモムービーを作る。 商店街の方々に企画提案プレゼンテーションを行う。 フィードバックをもとに企画書を修正する。 		上池上商店会 タブレット端末 プレゼンテーションアプリ 動画編集アプリ
クリエイション	<ul style="list-style-type: none"> 商店街へ取材を行い、動画素材を集める。 動画編集アプリを活用し動画編集を行う。 動画編集の指導を受ける。 動画編集アプリを活用し動画の修正を行う。 動画公開方法を考え、地域で公開する。 商店街の方に動画を視聴してもらい、最終フィードバックを受け、授業の振り返りを行う。 		上池上商店会 日本工学院または他団体 動画編集アプリ
本単元を行うために授業時数を削減する教科等、本単元で補完する内容及び削減する授業時数			
教科名等	本単元で補完する内容		授業時数
国語	<ul style="list-style-type: none"> 漢字の広場①～⑥ 公共図書館を活用しよう デジタル機器と私たち みんなで楽しく過ごすために 		9
算数	<ul style="list-style-type: none"> データを使って生活を見直そう 算数卒業旅行 		3
理科	<ul style="list-style-type: none"> 私の研究 地球に生きる 		3
図工	いつもの学校がへんしん		3
家庭科	<ul style="list-style-type: none"> 共に生きる地域での生活 持続可能な社会を生きる 		2
総合的な学習の時間			15